

平成29年度（28年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	環瀬戸内海圏の中核都市としてふさわしいまち	評価担当	局名	市民政策局
	政策	快適で人にやさしい都市交通の形成		課(室)名	交通政策課
	施策	公共交通の利便性の向上		電話番号	087-839-2138
	基本事業	目指す都市構造と整合した都市交通システムの構築		事業実施主体	市
	事務事業	地域公共交通再編事業（交通政策課分）		事業期間	平成28年度～平成35年度

【事業全体概要】

事業の概要
 持続可能な公共交通のネットワークの構築を目指すため、平成22年11月に策定した「高松市総合都市交通計画」の基本方針に沿って、26年度に策定した「地域公共交通網形成計画」及び27年度に策定した「地域公共交通再編実施計画」に基づき、既存ストックを有効に活用し、新駅整備事業、複線化事業、バス路線網の再編等を推進する。推進協議会「高松市総合都市交通計画推進協議会」を活用する。

29年度概要	【繰越分】 新駅（太田～仏生山駅間）整備基本計画策定業務 公共交通再編運賃体系検討業務	9,872千円 12,000千円
--------	---	---------------------

重点取組事業	特別重点	市長マニフェスト	2-	事務事業の類型	ソフト事業（法律による実施義務無）
--------	------	----------	----	---------	-------------------

【事業の目的】

対象（何を）	鉄道・バス等の地域公共交通
意図（どのような状態にしたいか）	鉄道や幹線道路など既存ストックを有効活用し、新たな交通結節拠点を整備する。鉄道を基軸として、市全域を対象とした現行バス路線を再編することにより、持続可能な公共交通ネットワークを形成する。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	H26	H27	H28	H29	中期目標 H30
総合都市交通計画推進協議会開催回数	回			3	3	3

【事業の成果】

成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H26	H27	H28	H29	中期目標 H30
施策に関する市民満足度（公共交通の利便性の向上） 成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 各種施策・事業の推進を通じた、公共交通の利用に対する機運の醸成等により、「公共交通の利便性の向上」に係る市民満足度については、昨年度に比べ減少したものの、年度目標値は達成できた。 	%	目標値 実績値			21 21	22	23
公共交通機関利用率 成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 当該指標は、平成19年度を基準年度として、毎年一定の利用者増（累積）を目標として掲げている。前年度に比べ、公共交通機関利用者数は、約2,300人増加し、利用率も0.5%上昇したものの、20年代前半に利用者数が減少したことの影響により、目標値の達成には至らなかった。 	%	目標値 実績値		13.6	15.3 14.7	15.5	15.7

【コストの推移】

指標名	単位	平成26年度（決算）	平成27年度（決算）	平成28年度（決算）	平成29年度（予算）
トータルコスト	[千円]			7,851	29,723
（事業費）	[千円]			0	21,872
（職員人件費）	[千円]			7,851	7,851

【評価】

評価ランク（A～D）	A	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	拡充
------------	---	--------------------------	----

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）

鉄道新駅の整備等に合わせたバス路線網の再編に向け、「バス・バス乗り継ぎ割引」や「電車・バスゾーン制運賃体系」の検討など、バス路線の再編に向けた必要な調査を実施するとともに、バス事業者等関係機関と協議を進めて行く必要がある。

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）

地域公共交通網形成計画等に基づき、関係機関等との連携により、持続可能な公共交通ネットワークの再構築に取り組んでいく。